

## 令和5年度あまみ地域づくり褒賞表彰者功績概要

【表彰状】 2個人・4団体

(順不同, 敬称略)

No.	被表彰者	所在地	功績概要
1	すずき 鈴木 るり子	奄美市	郷土料理研究家・シマコムタ伝える会会長として、奄美大島の文化や方言の保存・継承について取組を行っており、これまで、奄美大島の食文化に関する講演や執筆活動、メディアの取材対応、ラジオでの島口語り部など幅広い活動を行ってきました。 文化庁主催の「危機的な状況にある言語・方言サミット」に奄美大島話者代表(H29,R3～5)として出席し、県外の各開催地で方言を披露したほか、言語学研究者の調査等に協力するなど、島内外で方言の保存・継承に尽力しています。
2	みやなが まこと 宮永 誠	伊仙町	伊仙町肉用牛振興会会長、伊仙町農業委員会会長、徳之島用水土地改良区理事長、鹿児島県農業共済組合南大島支所統括理事など多くの要職に就き、若手のオピニオンリーダー的存在として、奄美群島内の肉用牛振興に重要役割を果たしています。 また、管理団体「かいなどう」を設立し、町堆肥センターの運営に直接関わりながら、令和5年度に県肉用牛振興協議会大島支部が実施した給与試験では実証農家として協力し、冬期粗飼料が不足しがちな奄美群島において、ハカマロールが粗飼料の一部として利用出来ることを実証するなど、伊仙町の農業振興・発展に取り組んでいます。
3	鹿児島県建設業協会奄美支部 (支部長 畠 利文)	奄美市	建設業従事者とのふれあいを通じ、子どもたちに建設業をより身近に感じてもらい、建設業が将来の職業選択のひとつになることを目的に、「土木フェスタinあまみ」を毎年開催し、10回目の開催となる今年には約6,000人の来場者が訪れるなど、建設業の人材確保に貢献しているほか、清掃活動や長浜みなど公園の伐採作業など、長年にわたるボランティア活動を通じて、世界自然遺産の島としての美化活動やイメージアップにも貢献しています。 また、令和5年6月の豪雨災害において、支部の会員企業が被災直後から、速やかな初動対応を講じるとともに、交通規制や主要道路の早急な交通確保と二次災害防止措置等により地域住民の安全確保に大きく貢献しました。
4	特定非営利活動法人「TAMASU(たます)」 (代表 中村 修)	大和村	地域資源や地域住民の得意分野を活かした、自然・文化を体験できるプログラム「奄美大島国直集落まるごと体験交流」の実施や、集落独自のローカルルール策定により、集落の自然や文化、コミュニティなどを守りながら、人々の暮らしと観光の共存を目指した地域づくりに貢献しています。 また、集落住民による話し合い活動等を通して、地域の意見を取り入れた地域活性化を行い、住民一体となったまちづくりを実践するなど、奄美群島内において先進的な取組を行っています。
5	天城町地域女性団体連絡協議会 (代表 大吉 美枝)	天城町	昭和29年4月に正式に結成し、「心豊かで明るい住みやすい町づくり」を目標に会員一丸となって励んでおり、「私たちにできること」を合い言葉に天城町イベントや様々な社会活動、奉仕活動をしています。 今年で36回目となるトライアスロンin徳之島大会では、選手のおもてなし部門を引き受け、島の料理などを振る舞うなど大会を盛り上げました。鹿児島国体トライアスロン競技(会場:天城町)では、マスの指導や花いっぱいフラワーロード運動に積極的に参加し、選手の応援及び地域の活性化を図りました。
6	特定非営利活動法人「よろん出産子育て応援隊 あんまあ〜ず」 (代表 内野 正世)	与論町	離島という地理的条件により、子育てに関する体験・知見の機会が少ない中で、親子のつながりや、妊娠・出産、子育て世代の支援・交流を促進する取組に加え、令和4年7月に子育て世帯の居場所となる施設「ASiBee」を開設し、子どもを中心として多世代の交流ができる居場所づくりなどを実施しており、地域の子育て支援及び教育に貢献しています。 また、沖縄県那覇市に妊婦専用のお産待機施設を開設するなど活動を広げています。

【感謝状】 2団体

(順不同, 敬称略)

1	宇検建友会 (会長 大友 満輝)	宇検村	令和5年6月の奄美大島南部の大雨により、宇検村・瀬戸内町の広範囲で、被災直後から同協会会員企業が被災箇所に出動し、土砂の除去、土嚢の設置など、昼夜を問わない速やかな応急対応で、早期の道路啓開がなされ、地域住民の安心安全の確保に大きな貢献がありました。
2	瀬戸内建設業協会 (会長 伊東 一宏)	瀬戸内町	令和5年6月の奄美大島南部の大雨において、宇検村・瀬戸内町の広範囲で、被災直後から同協会会員企業が被災箇所に出動し、土砂の除去、土嚢の設置など、昼夜を問わない速やかな応急対応で、早期の道路啓開を行い、地域住民の安全確保に大きく貢献しました。 また、瀬戸内町久慈地区で発生した土石流により、川内川が埋塞し、集落の浸水被害が発生した際、同協会会員企業が土砂や流木等の除去など応急対応を行い、二次災害の防止に尽力しました。